



经典世界童话 故事日语诵读

世界の有名な童話



主编 车成利

世界图书出版公司

经典世界童话故事日语诵读

主编：牟成利

编著：冯运超 王秀珍

世界图书出版公司

上海·西安·北京·广州

图书在版编目(CIP)数据

经典世界童话故事日语诵读 / 车成利主编. — 上海:
上海世界图书出版公司, 2009.1

ISBN 978-7-5062-9775-2

I. 经… II. 车… III. ①日语—汉语—对照读物②童话—
作品集—世界 IV. H369.4: I

中国版本图书馆CIP数据核字(2008)第148056号

经典世界童话故事日语诵读

车成利 主编

上海世界图书出版公司出版发行

上海市尚文路185号B楼

邮政编码 200010

上海市宝山区周西印刷厂印刷

如有印刷装订质量问题, 请与印刷厂联系

(质检科电话: 021-66157636)

各地新华书店经销

开本: 889×1194 1/32 印张: 10.25 字数: 200 000

2009年1月第1版 2009年1月第1次印刷

ISBN 978-7-5062-9775-2/H·858

ISBN 978-7-88765-450-2 (MP3)

定价: 27.80元(书+MP3)

<http://www.wpcsh.com.cn>

前言

怎样提高听力

曾经有学生问：“大学毕业能达到日本学生几年级的水平”，这里说的水平是指综合能力，众所周知外语的基本能力包括“听”“说”“读”“写”“译”，“读”的能力好的学生可以达到日本高中生的水平；“写”“译”的能力由日语水平和汉语水平决定，很难和日本学生作比较；但大多数大学生毕业所能达到的“听”“说”能力是不如小学生的。

上课的时候，我曾经把一些童话故事的听力让学生听，能够一次听懂的人并不多，能够用自己的语言讲述出故事的则少之又少。原因也很简单，我们做的听说的练习相对日本的孩子来说要少得多，他们几乎每天都在无意识地练习听说能力。而我们除了上课时间外，主动练习的机会比较少。

也有很多学生问我有没有好的方法能快速提高听力，我推荐的方法是“兴趣入手，泛听泛读”，同时我会强调，方法固然重要，更重要的是持之以恒，坚持不懈的努力。

兴趣入手，泛听泛读

当然，每个人的学习方法不同，不能说哪种方法最好，只要找到适合自己的学习方法即可。笔者推荐的学习方法是“兴趣入手，泛听泛读，持之以恒”。通过大量的阅读可以掌握更多的单词，提高语感，有利于提高听解能力。要想能坚持大量的听和读，兴趣也是必要的。所以建议找适合自己能力的听力材料，同时内容又不枯燥。同时学习日语贵在坚持，只有持之以恒，不懈努力才能获得成功。

持之以恒，获得成功

基于以上原因，笔者编辑了这本《经典世界童话故事日语诵读》。选择它的原因如下：

一、趣味性。《经典世界童话故事日语诵读》精选了世界各国的经典童话以及故事，这些故事数千年以来以其独特艺术魅力令人爱不释手，历传不衰。因为每个故事都非常有趣，所以听起来会百听不厌，轻松愉悦，妙趣横生。

二、成就感。《经典世界童话故事日语诵读》中的很多作品是大家耳熟能详的。这样，即使有部分不懂的单词也可以通过猜测来理解大概的意思。这种猜测能力也是外语学习者应该具有的，同时因为大部分故事篇幅较短，经过一段时间的积累，读者能由原来的听不懂到听懂部分，再到完全听懂，会有成就感。

三、《经典世界童话故事日语诵读》通过简洁精练的形式，耐人寻味的故事，把日常生活中的哲理和智慧充分表现出来。在学习的同时也是一种情感的熏陶。

练习听力的方法

很多人认为听力就是泛泛地听，甚至有的人看着原文听，这些都是不可取的。笔者建议可按如下方法：

1. 边听边做记录，不懂的单词要查字典，尽量不看原文，这样记的单词非常牢靠。
2. 边听边跟读，不要停止录音，跟读的同时要考虑是什么意思，不是单纯的跟读。这样可以培养语感。
3. 如果没有听懂，要重复以上方法直到听懂为止。听懂之后再看原文，用于确认听到的内容是否正确。
4. 听懂之后，不要急于听下一篇。要用自己的话概述听懂的内容，这样有利于提高用日语构思的能力，提高读解能力。

希望及其它

本书适合日语国际能力测试3级以上水平的读者阅读，译文部分为便于读者阅读，翻译以“信”为主，尽可能将所有的单词都翻译出来，可能部分译文感觉有些生硬。同时由于水平所限，缺点错误在所难免，恳请批评指正。

本书是“成功日语”系列之一，希望读者利用这本书愉快的学习日语，并在学习，工作和生活中不断取得成功。

如果对本书有任何意见和建议，请联系我们：

<http://chenggongriyu.blog.163.com>

编 者

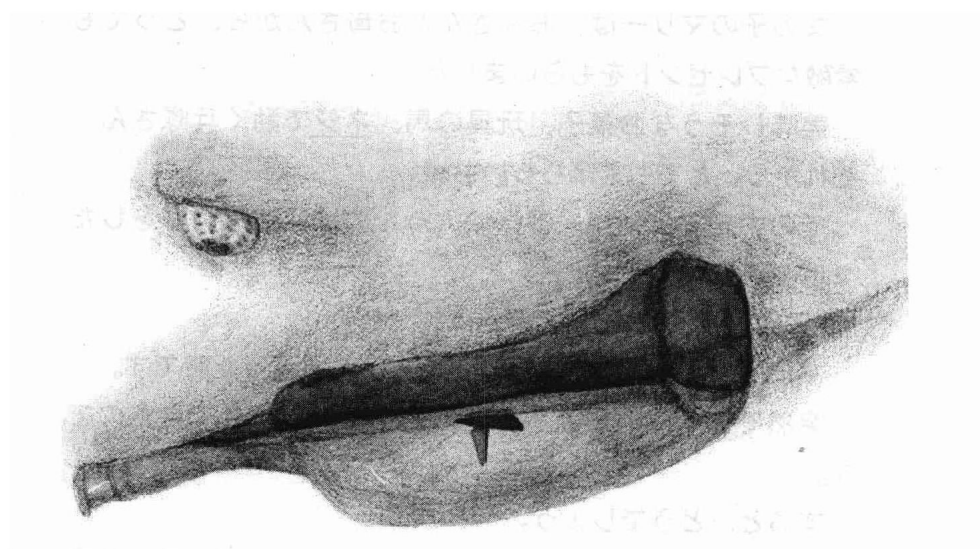
2009年元月

目 録

1. クルミ割り人形と鼠の王様	2
2. ラブンチェル	8
3. 錫の兵隊	14
4. イワンの馬鹿	18
5. トゥルーデおばさん	26
6. 臆病者と大男	30
7. パンを踏んだ娘	46
8. ゴルゴーン退治	54
9. 神様の獣と悪魔の獣	62
10. 獲物をとられた狐	66
11. アラジンのランプ	70
12. 白雪姫	80
13. 月の見ていた話（十四夜）	86
14. ピーター・パン	90
15. アリババと四十人の盗賊	98
16. 三人の糸紡ぎ女	104
17. コウノトリ	110
18. 三人の怠け者	116
19. カムイルの冒険	120
20. スガンさんの山羊	138
21. シンドバッドの冒険	144

② 经典世界童话故事日语诵读

22. 死神の名づけ親	152
23. 世界一美しい薔薇の花	158
24. 星の金貨	166
25. クルミ割りのケート	170
26. 狐と鷺鳥	186
27. 漁師とそのおかみさんの話	190
28. 月の見ていた話（二十六夜）	198
29. 羊飼いの少年	202
30. コルニーユ爺さんの秘密	206
31. 藁と炭と豆	216
32. 豌豆豆の上のお姫さま	224
33. ローザとジバル	228
34. お見合い	244
35. 黒牛の助け	246
36. 蛇の魔法	266
37. ズルタン爺さん	288
38. 赤頭巾ちゃん	294
39. 空飛ぶ絨毯	308



1. クルミ割り人形と鼠の王様

(ホフマンの童話)

昔々の、あるクリスマスの前の晩でした。

女の子のマリーは、お父さんとお母さんから、とっても素敵なプレゼントをもらいました。

美味しそうなお菓子、玩具の馬、ネジで動く兵隊さん、それから、とても素晴らしいお城。

その中でマリーが一番気に入ったのは、変な格好をしたクルミ割り人形でした。

「あたし、あなたが大好きよ」

マリーがクルミ割り人形を抱いて、そう言った時です。

突然そこへ、何十匹もの鼠の大軍が押し寄せてきたのです。

すると、どうでしょう。

今までじっとしていた人形たちが動きだして、鼠の大軍と戦争を始めたではありませんか。

もちろん、マリーに抱かれていたクルミ割り人形も立ち上がって、勇ましく戦いました。

ところが、鼠は大勢です。

人形たちは、負けそうになりました。

そこで思わずマリーは、自分の靴を鼠の大軍に投げつけ

咬核桃小人和老鼠国王

（霍夫曼童话）

很久很久以前的一个圣诞节前夜。

小女孩玛丽得到了爸爸妈妈送的非常精致的礼物。有看起来很诱人的点心，玩具马、上弦的木偶士兵、还有一座非常漂亮的城堡。

玛丽最中意的是一个造型奇特的咬核桃小人。

“我最喜欢你了。”

玛丽把小人抱在自己的怀里说。

就在这时，突然涌过来几十只老鼠的大军。

结果，怎么样呢？

原来一动不动的木偶们开始动了起来，和老鼠大军展开了战争。

当然，被玛丽抱在怀里的咬核桃小人也站了起来，英勇地加入了战斗。

但是，老鼠太多了。

眼看着木偶们就要失败了。

玛丽顺手拿起自己的鞋砸向了老鼠大军。

たのです。

鼠たちはびっくりして、逃げていきました。〇

次の晩、また鼠の大軍がマリーの部屋にやってきました。

「おい、ちびすけ。おれたちにお菓子を寄こせ。寄こさないと、クルミ割り人形を殺してしまうぞ」

鼠たちはこう言って、マリーを脅かしました。

マリーはクルミ割り人形をしっかりと抱いて、首を振りしました。

ところが、次の晩も、その次の晩も、鼠たちはやってくるのです。

「ぼくに、刀を貸してください。そうしたら、鼠たちをやっつけてやります」

ある晩、クルミ割り人形が言いました。

そこでマリーが、玩具の刀を持たせてやると、クルミ割り人形は鼠の王様と戦って、とうとう王様を倒してしまいました。

「刀を貸してくれてありがとう。お礼に、あなたを人形の国に連れて行ってあげましょう」

クルミ割り人形は、マリーを楽しい人形の国へ連れて行ってくれたのです。

朝になって、マリーは家の人にその話をしました。

「マリー、それは、あなたが夢を見ていたのよ」

お母さんが、言いました。

「そうだよ。大体、そんな馬鹿なことがあるはずないじゃないか」

老鼠们吓了一跳，逃跑了。

第二天晚上，老鼠大军又来到了玛丽的房间。

“唉，小崽子，赶快把点心交出来，否则的话，我们就杀掉咬核桃小人。”

老鼠们威胁玛丽道。

玛丽紧紧地抱着咬核桃小人，摇了摇头。

但是，第三天晚上，第四天晚上——，老鼠们又都来了。

一天晚上，咬核桃小人说：

“给我一把刀，我要把老鼠们都杀了。”

于是，玛丽给了咬核桃小人一把玩具刀。咬核桃小人和老鼠国王展开了决战，最后把国王打死了。

“谢谢你借给我刀。为了感谢你，我带你去木偶王国看看吧。”

于是，咬核桃小人带着玛丽去了快乐的木偶王国。

到了早晨，玛丽把这件事告诉了家人。

妈妈说：“玛丽，这一定是你做的梦。”

爸爸也说：“是啊，怎么会有这种荒唐的事呢？”

お父さんも、言いました。

（そうね。夢だったのかも）

ところが、それから何年か経った、ある日のことです。

マリーの家に、立派な若者が尋ねてきました。

玄関に出たマリーを見ると、若者は優しい目で微笑みます。

始めて見る顔ですが、マリーは、若者とどこかで会ったような気がしました。

「…あなたは、だあれ？」

「わたしは、あなたのおかげで人間に戻ることができた、クルミ割り人形です。子どものころ鼠の呪いを受けて、人形にされてしまいました。でも、あなたが貸してくれた刀で鼠の王様を倒し、やっと人間になれたのです」

それを聞いて、マリーは、すっかり嬉しくなりました。

「どうか、わたしのお嫁さんになってください」

「はい」

マリーは若者のお嫁さんになって、銀の馬が引く金の馬車に乗って、若者と一緒に出かけていきました。

これはマリーの夢なのか、それとも本当のことなのか、マリーにも分かりません。

本当なら、素敵ですね。

ネジ	螺（丝）钉，螺丝扣。
押（お）し寄（よ）せる	涌来，蜂拥而至。
じっと	保持稳定，一动不动。
ちびすけ	小鬼；小家伙。
脅（おびや）かす	威胁；威逼，威吓。
呪（のろ）い	咒骂，诅骂。

（是啊，也许真的是一场梦啊！）

几年后的一天。

一位帅气的年轻人来玛丽的家拜访。

年轻人看着玛丽从大门口出来，就用温柔的目光注视着她，嘴角带着微笑。

第一次见面，怎么会有一种似曾相识的感觉呢？

玛丽很奇怪问道：“你是谁啊？”

“我是咬核桃小人啊，在你的帮助下，我又变回了人。小时候我中了老鼠的诅咒，成了木偶。后来用你借给我的刀，打倒了老鼠国王，终于变回了人类。”

玛丽听后非常高兴。

“请你嫁给我吧！”

“好！”

玛丽做了年轻人的新娘，坐着银马拉的金马车和年轻人一起离开了家。

这到底是一场梦，还是真实的事情，连玛丽自己也弄不清楚了。

要是真事的话，就太好了。



2. ラプンチエル

(グリム童話)

昔々、あるおかみさんが、どうしても家の裏の畑のレタスが食べたくなりました。

でも、そのレタスは魔女の畑の物です。

主人はお腹に赤ちゃんのいるおかみさんのために、魔女の畑に入り込みました。

けれども、レタスを取ろうとしていたところを魔女に見つかってしまったのです。

主人から話を聞いた魔女は、言いました。

「なんだい、そんなことか。いいよ、レタスはいくらでもお取り、でもその代わり、生まれてくる子どもはわたしがもらうよ」

「いや、そんなことは…」

「いいね！子どもはわたしがもらうよ！」

そして魔女は、生まれた女の子を連れ去ってしまったのです。

魔女は女の子に『ラプンツェル』と名前を付けて、階段もドアもない、高い塔に閉じこめて育てました。

時は流れ、ラプンツェルは美しい娘に育ちました。

「ラプンツェル、ラプンツェル、お前の髪を垂らしておくれ」

と、魔女が塔の下から呼びかけると、ラプンツェルは黄

莴苣姑娘

（格林童话）

从前，有一个妇人非常想吃房子后面那块地里的莴苣（生菜）。

可是那是女巫地里的莴苣。

他的丈夫为了怀孕的妻子，偷偷来到女巫的地里。

可是他刚想拔莴苣就被女巫发现了。

女巫听了丈夫讲的事情经过，说：

“原来是这么回事啊。没关系，你拔多少莴苣都可以，但我有一个条件：必须把你们生下来的孩子交给我。”

“那可不行……”

“就这么定了！我要那个孩子！”

后来，女巫带走了刚出生的女孩。

女巫给女孩起了个名字叫“莴苣姑娘”。女巫把她关进了没有楼梯也没有门的一座高塔。

时间流逝，女孩长成了一个美丽的姑娘。

“莴苣姑娘，莴苣姑娘，把你的头发垂下来。”

每当女巫站在塔下面叫，莴苣姑娘就会把她那金丝般浓密